

第79号
平成26年2月1日
鷺山公民館
TEL 294-1665

皆で創りあげた 素晴らしい文化祭

平成二十五年度鷺山校区文化祭は、十一月二日、三日の二日間にわたって、鷺山小学校体育館と鷺山公民館で盛大に開催されました。今回は例年以上に出品出演の申し込みがあり内容の充実した文化祭に成りました。

二日午前九時三十分から公民館審議運営委員会及び公民館クラブの皆さんによって準備された会場で出品者による作品の飾りつけが行われました。

今回の出品は多方面から新しい作品が数多くあり展示場所が不足する程で体育館全体に飾られました。県岐商書道部・絵手紙クラブ・大型行灯・子育て支援

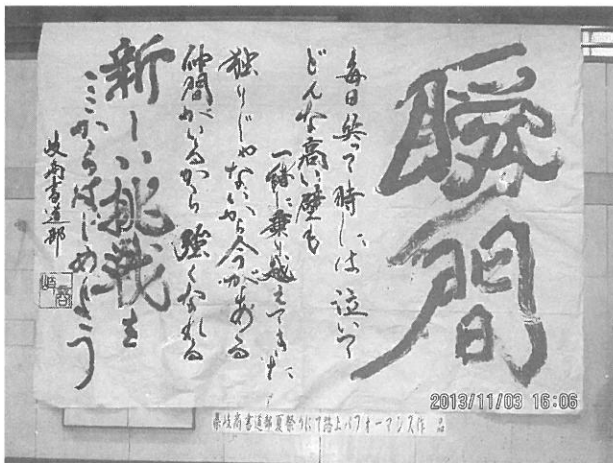
の子ども作品・円空彫刻・電波関係など新しい作品が多数ありました。また、体育振興会によるグラウンドゴルフ大会も開催されました。ステージ発表ではプログラム等の構成を行ない出演者・見学者共に楽しく参加できるような場所・時間等工夫しました。

今回も出品・出演共に例年より大幅にレベルアップされ多くの方々から賞賛の声が聞かれました。公民館和室では、茶道クラブの皆さんによる、お茶会が開催され予定以上の参加で大盛況でした。

会場の後片づけは公民館審議

運営委員・各自治会長・公民館クラブの方々に、会場の行き帰りの安全には交通安全協会の方々など多くの人々にお力添えをいただきました。
文化祭をきっかけに地域住民の絆を一層深めることができることを願っています。

県岐阜商業高校の
書道部による作品



(絵手紙クラブ)



(フラワーアレンジメント)

公民館クラブ
による
体験コーナー

文化祭に 参加して

鷲山小学校 四年生
桑原 莉子

私達四年生は、文化祭で合唱「未来みつめて」と合奏「カントリーロード」を発表させていただきました。四年生全員で心を一つにききに來てくださる方も自分達も感動できるようなものにしたと、当日まで、一生けん命練習をしてきました。

文化祭当日は、とてもきんちょうでしたが、鷲山地いきの文化祭だったので祖母やおばや近所の人なども見に来てくれていて、自分達のがんばる姿を見ていただく事が出来たとでもうれしかったです。発表は上手にできて、大成功だったので、良かったです。とても思い出に残る文化祭になりました。発表の機会をいただき、ありがとうございました。



(鷲山小学校4年生 合唱の発表)

青山中学校 合唱部
部長 西原 美玖

青山中学校は、今年も合唱と作品展示で文化祭に参加させていただきました。

私たち合唱部は、普段から地域の方にお世話になっているので、感謝の気持ち伝わるよう努力を積み重ねてきました。「ジブリメドレー」は、振り付きで歌うことに挑戦しました。歌いながら踊るのは大変でした。振りのタイミングをそろえたり、明るい表情を心がけたりして、地域の方に楽しんでいただくにはどうす



(青山中学校 合唱部の発表)

るとよいか考え、練習しました。「友々旅立ちの時々」は、春からの成果を出しきることができました。合唱が終わると地域の方が笑顔で拍手をしてくださって、喜んでいただけとても嬉しかったです。これからもさらなる上達を目指して、聞いている人に感動してもらえよう合唱を創っていきたくです。

琴・三絃クラブ

中村 節子

平成十二年四月に「琴・三絃クラブ」を発足しまして、早いもので十四年になろうとしています。偶然同じ時期に尺八クラブも発足されまし



(琴・尺八クラブ オープン演奏)

たので文化祭では一緒に演奏させて頂いております。今年も、一日目の体験コーナーにも参加し、大勢の方々に琴に触れて頂きました。二日目の発表会では、尺八クラブと合同演奏をし日本の伝統文化を知って頂けたのではないかと思います。こんな活動をしているクラブですが、以前少し習った事がある方、また習った事は無いが興味がある方は是非一緒に弾いてみませんか。第一・第三水曜日の午後練習をしています。 ”良い歳を重ねる為に”をモットーとして活動を続けたいと思っております。

文化祭に初参加して

電波適正利用推進委員

中嶋 奨

一昔前の電波利用はNHKラジオ放送などが主で、当時TVは白黒からカラーとなり東京オリピックがカラーで中継放送されました。最近では、携帯電話・赤ちゃん見守りTV・長距離トラック運転手の会話など電波の知識が無くても気軽に使える便利な時代となりました。しかし、中には法律によって国内で使用できない無線機もあり、消防・警察無線、人命や財産を守る防災無線など重要な無線通信に混信を与える恐れがあります。これらの使用を防止して電波を適正に利用していただく啓発活動が電波適正利用推進活動です。

会場では、PRポスター・パネル展示とともに、古い受信機、移動用無線機に加え、測定器を使い普段見えない電波を電波の波形など見ていただきました。

今後、子供達のラジオ製作教室の開催を計画して電波に興味を持ってもらいたいものと思っています。開催時には多数の参加をお待ちしています。



円空彫展示と実演

霜田 英二

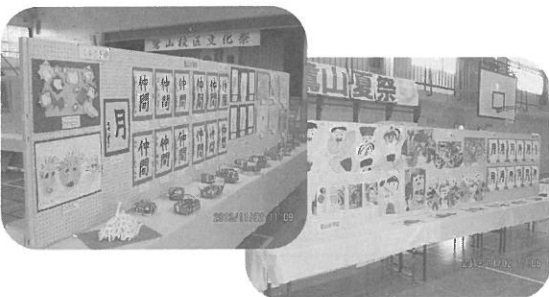
遊行僧円空は生涯に12万体の仏像を造顕したと伝えられております。円空仏の特徴はなんといっても、その微笑にあります。今回の展示は二回目ですが、その円空彫の魅力を皆様に体験して頂く為、実演コーナーを実施しました。円空仏は5cm位の小さなものから、大きなものでは3mを超えるものまでありますが、円空さんは「草木国土悉皆成仏」の考えで、本来捨てられる木端も使用されており、体験では10cm前後の木端仏に挑戦して頂きました。参加して頂いたのは、小学生から70代の方まで見えました。女性の方が殆どでした。「彫刻刀は初めてだ」とか「彫るのは難しい」との感想が多かったのですが、皆さん最後の完成品を見て感激しておられました。今回は男性の参加者が一人もいなくて残念でしたが、次回、機会があれば是非多くの方の参加を期待したいと思います。



青山中学校 生徒作品



鷺山小学校 生徒作品



クラブ紹介

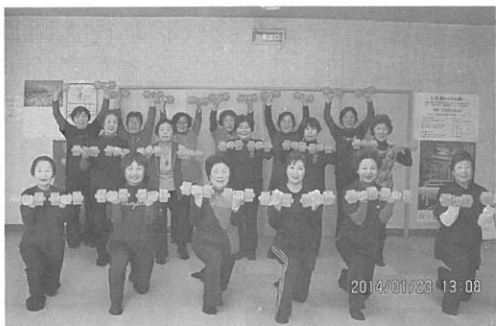
「健康寿命を出来るだけ長く!!」

いきいきエクササイズ

清水 邦子

私達クラブ員二十四名は、毎週木曜日、月四回、小川先生のご指導の元、健康増進と会員同志の親睦を図ることを目的に楽しみながら汗を流しています。身近にあるタオルを利用し音楽と先生の号令に合わせて、頭の先から手足の末端までゆっくり動きがストレッチ体操は身体の隅々まで伸びる気がしてとても気持ちが良いです。今年になって始めたダンスベルを使つての軽快な音楽に合わせてのリズム体操も、体力、筋力の維持と増進を目的に皆で楽しみながら、日々頑張っています。

時には、休憩時間に先生のご趣味でもある本場仕込みのフラダンスの実演を見せて頂くのも楽しみの一つです。日本は現在世界一の長寿国と言われています。少しでも、若い人達の足手まといとならないよう、日頃から意識して健康管理に気をつけて「健康寿命を出来るだけ長く!!」を目標に、毎日を元気に楽しく過ごしたいと思います。



公民館講座

健康講座



鷺山校区内の開業医師、梅田哲正氏が講師のため参加者123名と大盛況でした。今回のテーマの健康寿命から見た生活習慣は身近に感じる事から真剣に聞いて見えました、食改の生野菜300gを実際に見て驚かれたり、筋トレクラブでは、80歳まで現役を目標に筋肉を鍛える体操を指導してもらいました。



人権教育講座

ビデオ上映・児童による作文発表、鷺山小学校奥田校長先生の講演は「私

が出会った子どもたち～人はみんなコンペイトウ～」の演題で今までに経験された体験談を元にとても身近なお話を聞く事が出来ました。また「それゆけアンパンマン」にまつわる実話・ことばの意味、子どもたちの大好きなアンパンマンにとても奥の深い人権が隠されていました。ぜひ、子どもたちにも聞いてもらいたいお話でした。



森田草平を思う

川島 三郎

昨年の九月六日、十一月六日の二回、朝日新聞の天声人語に森田草平に関する文が載った。郷土が生んだ著名人の名前が有力紙面で紹介されることは同郷人として本心に誇らしく思う。

浅学非才の小生、文学についてはいたって無知で小学校の頃は本といってもなかなか買ってもらえなかった。友人に借りた本といえば、真田十勇士、猿飛佐助、岩見重太郎等の時代小説や田河水泡の漫画(のらくろ)等ぐらいで純文学から程遠い存在だった。

昭和十九年大平洋戦争が激しくなる頃農林学校に進学した。何日かたつたある日の国語の授業中に突然、後藤先生から「川島、森田草平を知っているか」と聞かれ何のことかとさっぱり分からず「知りません」と答えたら、「お前、鷺山の出身で郷土の偉大な文人を知らないのか」と叱られ顔から火の出るような恥ずかしい思いをした。

昭和十九年半ばから戦局は益々激しく悪化し勉学どころの話ではなく、連日、学徒動員で農家の手助けに駆り出されたくたになつて帰宅する毎日だった。昭和二十年に入るやアメリカ空軍機の爆撃が激しさをまし日本中が焦土と化し八月十五日敗戦を迎えた。

戦後の混乱期、みんなは生きてゆくのに必死で漸く職についたあとは無我夢中で働いてきた。文学に接する時間をもてなかつたことを自ら恥じ郷土の大先輩に敬意を表し足跡をたどりながら著書に触れて見たいと思う。

お知らせ

※青山中学校、生徒会によるペットボトルリサイクル回収ボックス設置

※カーブミラーを設置しました。

※今後の予定 一・多目的トイレをウオシレットに変更
二・二階の壁紙の張り替え

